

京都市交響楽団 スプリング・コンサート

The Spring Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

春に芽吹く、期待の新星が描くスケッチ

若きマエストロ 松本宗利音と

2024年プラハの春国際音楽コンクール優勝の

佐々木つくしが登場!

©京都市交響楽団

2026 4/5 日

午後2時開演 (午後1時開場) Sunday, April 5, 2026 / 2:00 PM

京都コンサートホール Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Program

レスピーギ: ボッティチェリの3枚の絵

Respighi: Three Botticelli Pictures

モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216*

Mozart: Violin Concerto No.3 in G major K.216*

ムソルグスキー (ラヴェル編): 組曲「展覧会の絵」

Mussorgsky (Ravel): Pictures at an Exhibition, suite

指揮 松本 宗利音

Conductor: Shurihito Matsumoto

2026 1/31 日 から発売

入場料
(全席指定)

A2,500円 B2,000円

チケット
ご予約

- ・京都コンサートホール 075-711-3231
- ・ロームシアター京都 075-746-3201
- ・24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード: 308-607

お問い合わせ

京都市交響楽団 075-222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール 075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>



◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

■1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2026年3月27日までに京響075-222-0347へお申し込みください)

■障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。
京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います
(窓口で手帳等の証明書をご提示時ください)。



©Ayane Shindo

ヴァイオリン 佐々木 つくし
Violin: Tsukushi Sasaki*

京都市交響楽団スプリング・コンサート

若きマエストロ 松本宗利音の指揮のもと、春を彩る名曲プログラムを！
～ 2024年プラハの春国際音楽コンクール優勝の佐々木つくしを迎えて～

希望に満ちた新年度のスタートを飾る「スプリング・コンサート」は、学生や市民の皆様気軽に、そしてリーズナブルにクラシック音楽をお楽しみいただくコンサートです。2026年度は、京都市立京都堀川音楽高等学校でも学んだ松本宗利音が指揮に登場。2025年4月から大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任するなど、輝かしい活躍を見せる若きマエストロが、絵画にちなんだレスピーギとムソルグスキーの名曲をお届けします。モーツァルトのヴァイオリン協奏曲では、2024年プラハの春国際音楽コンクールで優勝した佐々木つくしを独奏に迎えます。リューベック音楽大学とベルリン・フィル・カラヤン・アカデミーで研鑽を積む、今最も注目されるヴァイオリニストです。期待の新星、松本宗利音と佐々木つくし。二人のフレッシュな共演による、春の京都にぴったりの「スプリング・コンサート」を、皆様どうぞお楽しみに！

指揮 松本 宗利音 Conductor: Shurihito Matsumoto



「目指す指揮は、失敗を恐れず作品と向き合った解釈をオーケストラに伝えること」と語り、その確かな構成力と瑞々しい感性から溢れ出る音楽で頭角を現している期待の新星。2025年4月から大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任。2019年から2022年まで札幌交響楽団指揮者として北海道内はもちろん各地で共演を重ねた他、2020年10月には指揮研究員を務めていた東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の定期演奏会に、2021年2月には読売日本交響楽団名曲

シリーズに、同年9月には大阪フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にもデビューし堂々たる演奏を披露。山形交響楽団、仙台フィル、群馬交響楽団、東京交響楽団、新日本フィル、東京フィル、名古屋フィル、京都市交響楽団、関西フィル、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、九州交響楽団などからも次々に招かれ、その後も定期的に共演を重ねている。2024/2025シーズンはNHK交響楽団にデビュー。1993年生まれ、大阪府豊中市出身。相愛音楽教室、センチュリー・ユースオーケストラに所属し、音楽、特にヴァイオリンに親しみながら幼少期を過ごす。京都堀川音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部指揮科卒業時に最優秀賞であるアカンサス賞を受賞。指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和、ヴァイオリンを澤和樹、曾我部千恵子の各氏に師事。藝大在学中にはダグラス・ボストック、パーヴォ・ヤルヴィ両氏のマスタークラスを受講。「宗利音(しゅうりひと)」の名付け親は、20世紀の世界的指揮者カール・シューリヒトの夫人である。

ヴァイオリン 佐々木 つくし Violin: Tsukushi Sasaki



©Ayane Shindo

2024年第75回プラハの春国際音楽コンクールのヴァイオリン部門にて第1位受賞(日本人としては玉井菜採氏に次ぐ2人目)、併せてプラハ市賞、チェコラジオ賞、ペーレンライター賞、Viktor Kalabis and Zuzana Růžicková Prize賞を受賞。副賞として第80回プラハの春国際音楽祭で行われた“デビュー”公演(於：スメタナホール)に出演、プラハ放送交響楽団と「プロコフィエフ／ヴァイオリン協奏曲第1番」を演奏し大きな喝采を浴びた。2018年第87回日本音楽コンクール第2位、併せて岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞を受賞。2020年第18回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。2025年メンデルスゾーン全ドイツ音楽大学コンクール(ドイツの全音楽大学から選抜された学生たちが参加)にて第1位。2025年1月よりベルリン・フィル・カラヤン・アカデミーに在籍。ソリストとして、ホーフ交響楽団(ドイツ)、プラハ・フィルハーモニア(チェコ)、プラハ放送交響楽団(チェコ)、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団等と共演。また、室内楽活動も積極的に行っている。東京都出身。3歳よりヴァイオリンを始め、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部を卒業、安宅賞、宮田亮平奨学金、アカンサス音楽賞等数々の賞を受賞し、現在はリューベック音楽大学修士課程にてハイメ・ミュラー氏に師事している。これまでに川合左余子、川上久雄、小林美恵、清水高師、玉井菜採、渡辺玲子の各氏に師事。2019、2020年度ヤマハ音楽支援奨学生。2021、2022年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。第50、54回江副記念リクルート財団奨学生。

京都市交響楽団



©井上写真事務所 井上嘉和

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置・運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指している。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会など多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリースを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年は創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。

次回予告

第710回定期演奏会

2026 2/6(金) から発売!



©Felix Broede



©鍋島徳恭

沖澤の「ドン・ファン」&「家庭交響曲」で華やかに幕開け！
レジェンド・堤剛の矢代秋雄「チェロ協奏曲」にも注目

日時 2026年4月10日(金) 午後7時開演

4月11日(土) 午後2時30分開演

会場 京都コンサートホール

指揮 沖澤 のどか(常任指揮者) 独奏 堤 剛(チェロ)★

曲目 R.シュトラウス：交響詩「ドン・ファン」op.20 矢代秋雄：チェロ協奏曲★ R.シュトラウス：家庭交響曲op.53

入場料 全席 6,000円 A 5,500円 B 4,500円 C 3,500円 D 3,000円(舞台後方席)

U30(前売) 全席 2,500円 A 2,000円 B 1,500円 金曜ペアチケット(4/10公演) 全席 10,000円 A 9,000円 B 8,000円